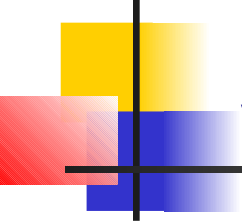


就職産業における主な機関との 比較



- 公共の機関
- 民間の職業紹介・派遣会社
- 学校
- 求人誌・求人サイト
- 就職転職クラブ



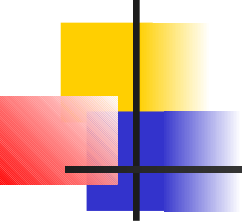
公共の機関

政策による、失業率の低下等を
目的として斡旋を行う。



民間の職業紹介・派遣会社

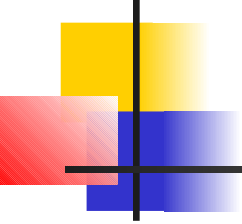
取引先からの利益を目的として
斡旋等を行う。

- 
-
- 無料で利用できる。
 - 取引先企業に人を送るため、最大限の努力を行っている。
 - 取引先企業を過大評価する傾向がある。
 - 事業者に対して、支払能力のある企業に限られる。



学校

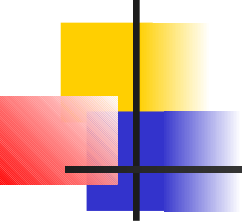
就職内定率向上や有名企業への
就職による、ブランド力の向上を
目的に斡旋を行う。

- 
-
- 有名企業等への就職が期待できる成績上位者に力が入る。
 - 内定率を重視する。



求人誌・求人サイト

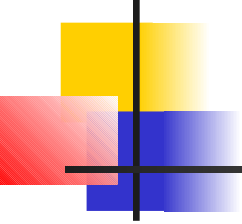
多数の利用者を獲得し、企業からの
掲載料等による収入を増やすことが
目的

- 
-
- 無料、もしくは安価で利用できる。
 - 営業力があり、情報量が豊富。
 - 利用者の利便性を考えた工夫が多い。
 - 掲載料を多く支払える企業を優遇する。



就職転職クラブ

会員特典や確かな情報力により
会員を満足させ、会費収入を増や
すことが目的。

- 
-
- 企業からの広告費・掲載料等を一切受け取らないことにより、他事業と差別化。
 - 無料で情報を集めるので、情報が集まりやすい。
 - むやみに就職を勧めることがない。
 - 利用者の為のサービスが充実。
 - 今までにない業種で、可能性は未知数。